

## サービス検討SWGからの報告(案)について

---

**【報告事項】 ①提供するサービスの具体化、明確化、 ②推進主体と地域を今年度中に決定。**

■訪日外国人が将来的に3000万人とも言われる中、我が国に訪れた方が、入国時から滞在・宿泊、買い物、観光、出国まで、ストレスなく快適に過ごすことが可能となるICT基盤を整備することが重要。

■1枚あれば電車、バス、タクシー、買い物等が可能である交通系ICカード及び、誰もが持ち歩くスマートフォンをトリガーとし、クラウド上に登録する自国語情報などの属性と紐づけ、ホテルや百貨店などで、個人に最適な情報・サービスを提供。

## 推進主体

- ICTを活用したインバウンド拡大に積極的なサービス事業者、ICTベンダー等による「**推進体制**」(例：一般社団法人)を構築。**2015年度中までの明確化。**
- 「推進体制」において、ICTおもてなしクラウドの運用、属性情報の管理、サービス事業者同士の連携等の仕組みを実用化。
- 複数の地域において、目に見える形での実証実験を実施。

## 導入地域

- **2015年度中に、複数の先行導入地域を想定して、プロジェクトの明確化。**(例：国際空港があり玄関口となる地域、訪日外国人が特に多いと見込まれる地域 等)  
(候補例：千葉地区(成田・幕張)、渋谷地区、港区、竹芝地区、六本木・虎ノ門))

## 具体的サービス

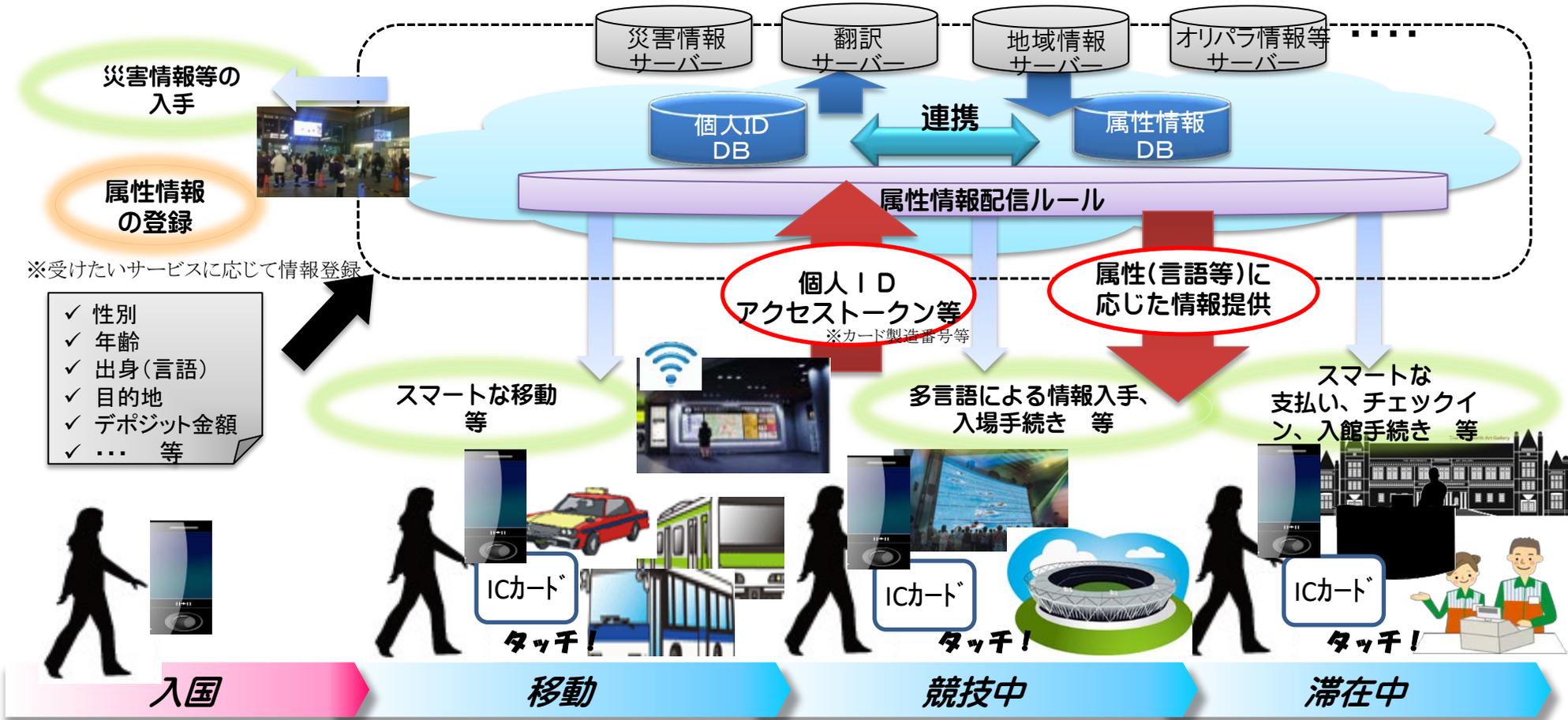
- 交通系ICカード(Suica、PASMO等)やスマートフォン(以下ICカード等という)と、個人属性情報(PDF化されたパスポート情報等)を紐付け、以下サービスの実施を検討。この他サービスの追加可能性あり。
  - 1) ICカード等を、商品購入時、レジの読取り機にタッチ。免税手続き書類に所要事項が記入されてプリントアウト。手続き簡素化
  - 2) ICカード等をホテルのチェックイン時に、フロントの読取り機にタッチ。ホテル側のサーバに情報が蓄積。パスポートコピーが不要
  - 3) ICカード等を美術館の入館ゲートにタッチすればそのまま入館可能。展覧会情報や相互割引等の付加サービスなどの提供 等
- 併せて、属性に応じた情報提供サービスの実現についても検討するとともに、必要に応じて公共情報(観光情報、Lアラート情報等防災情報等)のオープン・データについて共通的な利用を可能とする環境整備を図る

## 目標時期

2015年度中 各地域における先行導入検討開始、推進体制の設立

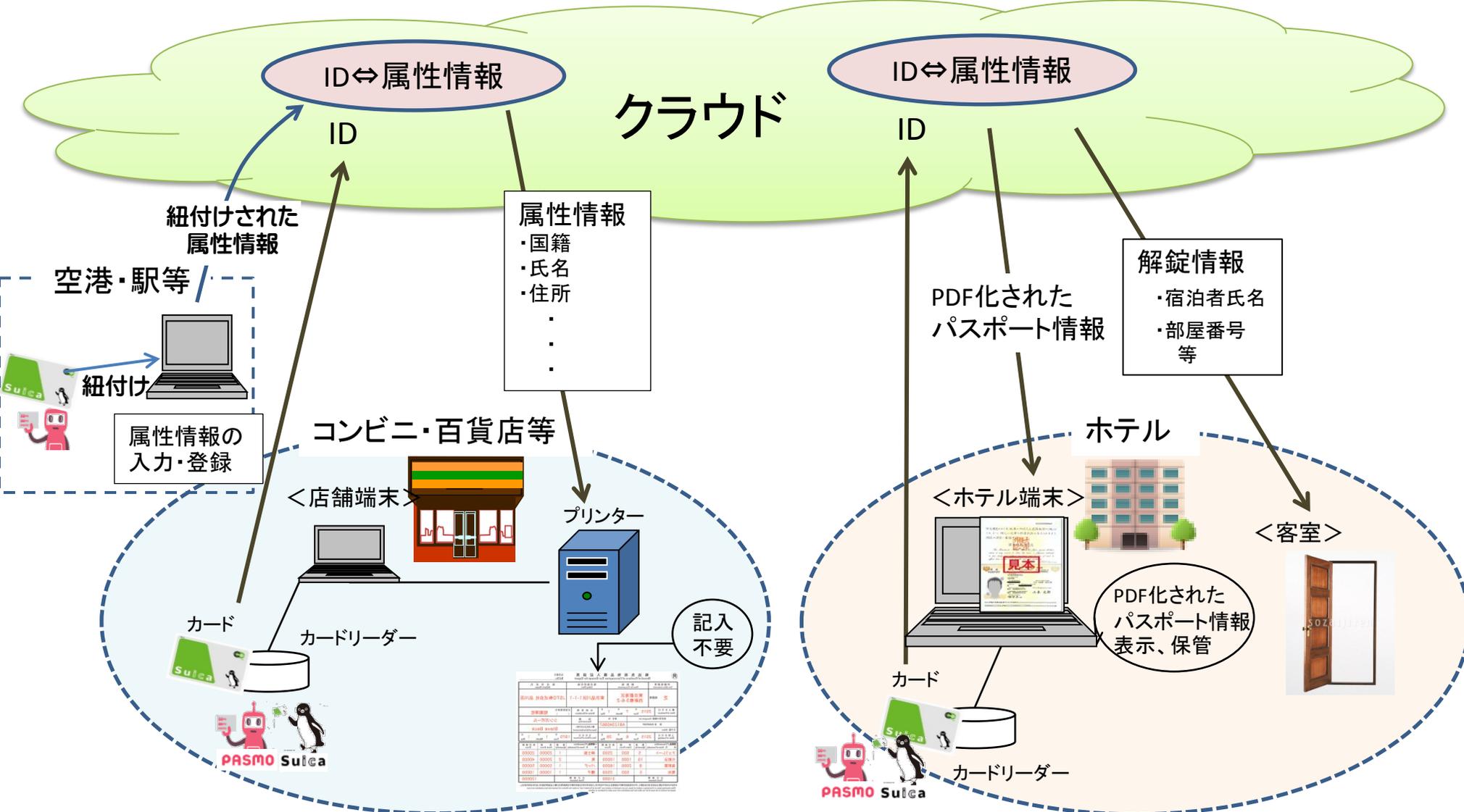
2016年度 **【基盤仕組】**クラウド基盤の要件整理、共通API仕様の策定。属性登録・認証に必要な仕組みの整理  
**【実証事業】**実証事業の実施(投資対効果、システムを運用していく際の技術的、制度的課題の検証)

2017年度 **【運用開始】**ICTおもてなしクラウド基盤の構築、先行導入地域による実運用サービスの一部開始



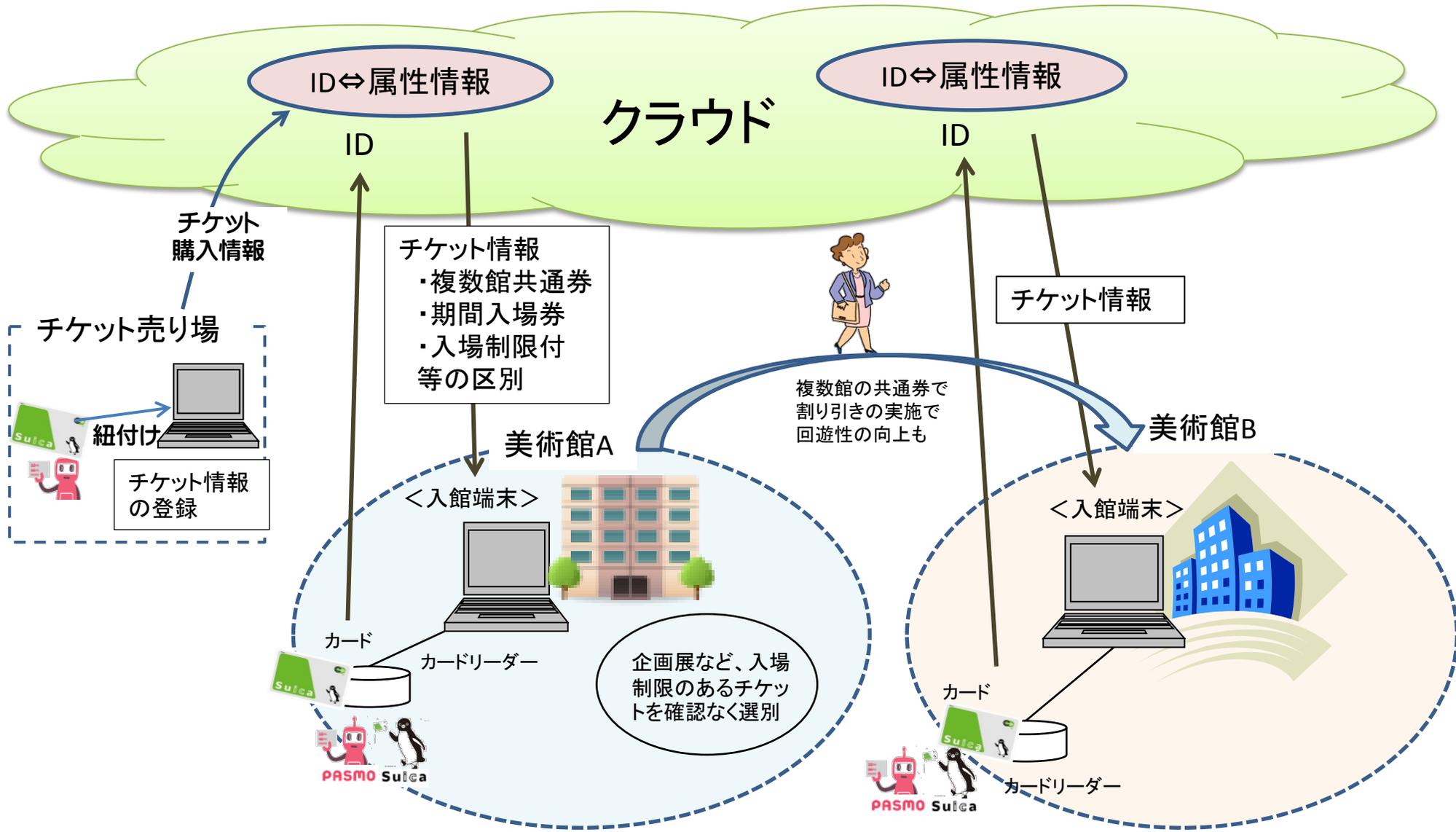
# ユースケース例1（免税手続きの簡素化）

- ①事前に交通系ICカードと属性情報の紐付けを、購入時に実施（ホテルのフロント等で事後的に属性情報の追加もあり）
- ②属性情報によって、免税手続きの「記入省略」やチェックイン時の「コピー省略」等のサービスを実施



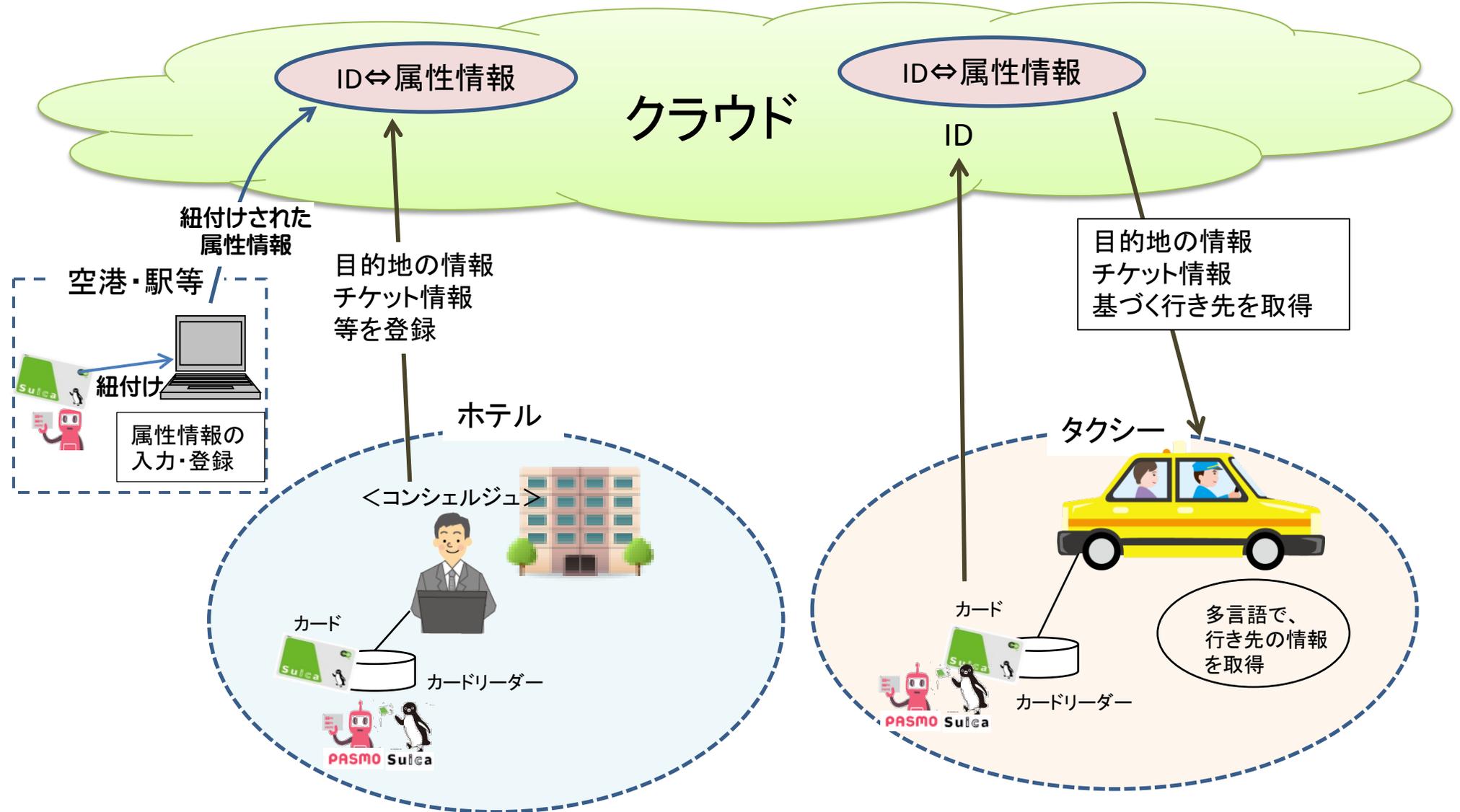
# ユースケース例2（美術館の入館手続き）

美術館のチケットと交通系ICカードを紐付けて、美術館への入場券として利用。  
また、期間限定の企画展など入場区分がある場合にも、係員の確認の手間を省き、スムーズな入場を実現



# ユースケース例3 (ホテル、タクシーでの利用)

ホテルのコンシェルジュ等で行き先の情報、チケットの情報等を登録。タクシーにおいて、交通系ICカードをタッチすると、多言語で行き先が表示され、行き先の意思表示



# 想定される活用シーン

利用ケース	活用シーンの具体例
入国前の周知	本国にいる時点で、本サービスの周知を行い、事前の登録、交通系ICカードの購入につなげる。
飛行機内での周知	比較的時間に余裕のある飛行機での移動中において、本サービスの紹介を行い、交通系ICカードの購入、属性情報の登録を行う
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港での周知</li> <li>・空港内、空港から外への案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空港において、本サービスの紹介を行い、交通系ICカードの購入カードの購入と、個人属性情報の登録を行う。</li> <li>・空港設置のデジタルサイネージやアプリを利用して、空港内の施設案内、空港から都内への交通機関の紹介に利用。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>空港からの移動</li> <li>都内での移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各空港から都内へ入る際や都内での移動時の移動時の支払い、行き先の案内に交通系ICカードと、事前に登録した行き先の情報を連携させて利用</li> <li>・駅構内での移動の案内</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での滞在時 (買い物時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で買い物をした際の免税手続きの簡素化に利用</li> <li>・デジタルサイネージと連動したクーポン、広告の提示</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での滞在時 (美術館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共競技場や美術館・博物館等のチケットとして活用</li> <li>・常設展示や企画展示など入場区分がある場合での入退室管理</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での滞在時 (宿泊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードと紐づけられたパスポートのPDF情報等を活用した、ホテル等でのチェックイン手続きの簡素化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での滞在時 (食事)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラル情報等が表示され安心した食事の提供</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本での滞在時 (支払い)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物、交通機関利用、宿泊時等での支払いにおいて、交通系ICカードとクレジットカードを連携</li> </ul>

# 今後のスケジュール(案)

